



さくら



〔校木:高野槇〕

【教育目標】
 豊かな心を持ち
 自ら学び共に高め合う
 生徒の育成

【校訓】
 自立・共励・躍進

宮中生の底力を実感した2学期

宮床中の歴史に新しい1ページを刻んだ頑張りに拍手

先日からの積雪で、校庭にはまだ多くの雪が残り、校舎から望む雪化粧の七ツ森の風景も、冬本番の訪れを感じさせます。そんな中、校内では、落ち着いて授業に取り組み、休み時間には級友と談笑する光景が見られます。また、朝や昼休みには、昇降口前や登校坂の雪かきに自主的に取り組む生徒の姿があり、温かい心や成長の足跡が感じられます。

本日、2学期の終業式を校内放送で行いました。コロナ禍で、学校行事や日々の生活の中でもいろいろな制約がある中ですが、生徒は今できることを模索し、挑戦を続けた2学期であったと思います。日頃からの保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。



87日間という長かった2学期も今日で終わりです。新型コロナウイルスの感染拡大のために、全国的に、そして宮城県内でも、休校せざるを得ない学校が連日のように出ている中で、本校では感染する生徒もなく、無事に今日の終業式を迎えることができたことをうれしく思います。

2学期の始業式に「努力のつぼ」の話をしました。

『人が何か目標や志を立てたときに、人は知らないうちに「努力のつぼ」を渡されるのです。

そのつぼに努力という水を注ぎ、つぼから水があふれ出たときに目標や志が達成するのである』

という話です。2学期を振り返ってみると、勉強や部活動、校外活動などいろいろな場面で目標を立てることがあったと思います。その目標に向かって君たちはどれだけ、つぼに努力の水を注ぐことができたでしょうか。年が替わるこの時期に、もう一度振り返ってみてください。

さて、宮床中学校の2学期を振り返ると、改めて宮中生の底力を確認することができました。2学期も新型コロナウイルスによって、修学旅行の中止をはじめ、多くの学校行事や活動が制限されました。しかし、こうしたピンチの状況の中、数少ない行事や活動において、君たちはもっているエネルギーを発揮し、すばらしい活躍を見せてくれました。3年生は、修学旅行の代わりに行った学年行事“なんだからんだり”の活動に、2日間にわたり、学級・学年で団結して取り組みました。修学旅行で組むはずだった班ごとの発表では、ユニークな内容に笑いや拍手が起こったりするなど、思い出に残る行事になりました。

9月末の地区中体連新人大会では、1・2年生が自分たちの目標だけでなく先輩達の思いも背負い、男子ソフトテニス部や女子バレー部の優勝をはじめ、多くの部活動が入賞を果たす大活躍を見せました。さらに県新人大会では、女子卓球部が県を初制覇し、全国大会への出場を決めました。県大会決勝は、地区大会決勝で負けた大郷中との再戦でしたが、見事ストレートで破っての快挙となりました。これは、負けた悔しさをエネルギーに変え、努力し続けた大いなる成果です。悔しさをエネルギーに変え努力するこうした姿勢を、皆さんも大いに見習っていきましょう。

また、今年度、全校生徒が参加する唯一の行事となった10月の運動会では、コロナに配慮しながら、例年にはなかったユニークな種目を生み出したり、昼休憩には全校生徒でフォークダンスを踊ったりして大いに盛り上がりました。秋晴れの中、多くの笑顔があふれ、クラス一丸となって全力で取り組んでいる姿が心に焼き付いています。

生徒会活動では、有志を募って「あいさつ運動」の活性化を図り、「ボランティア活動」では、花壇の草取り、落ち葉清掃、校庭の草取りなどに百名を超える生徒が参加して取り組みました。連日の大雪に対しても「雪かき隊」は大活躍でした。こうした中学生の君たちが主体となった取組は本当にすばらしいです。

今年は、例年のような歩み続けることができなかつたけれども、生徒の皆さんと先生方が工夫し、各活動に新風を吹き込むことで、宮床中学校の歴史に新たな1ページを加えてくれたと感謝しています。“宮中生には、秘めた力やエネルギーがまだまだたくさんある”そんな期待を持たせてくれた2学期でした。

2021年の新年も新型コロナウイルスの影響は続くでしょう。けれども、今年の実績を忘れず、いかなる状況でも「挑戦する心」を大切に頑張りましょう。

明日から冬休みが始まります。この冬休みは、これまで自分が達成できなかったこと、あるいは次の目標に向けての努力を積み重ねるには、とてもよい期間になります。特に3年生は、自分の進路実現に向けて、全集中で最大限の努力を積み重ねましょう。そして受験は団体戦。クラスや学年の仲間と励まし合いながら、この受験の壁を皆で突破していきましょう。



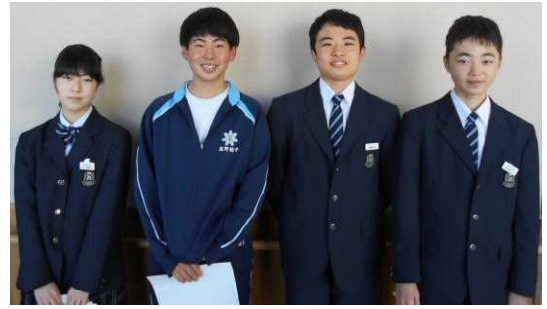
結びになりますが、冬休みには健康に気をつけ、事件や事故に遭わないように12日間を有意義に過ごし、良い年を迎えてください。1月6日の3学期始業式に全員元気で会えることを祈って、私からのお話を終わります。〈第2学期終業式 校長式辞〉

「2学期の振り返り」と「これからの抱負」を発表

本日、校内放送で実施した終業式で、各学年と生徒会の代表生徒が、2学期の振り返りとこれからの抱負について堂々と発表しました。

コロナ禍でいろいろな制約がある中で実施できた学校行事や学年行事を通じて感じたことや、自分自身のこれからの目標の他、各学年や学級でチームとして目指したい姿など、一人一人の思いの詰まった発表でした。

3年生からは、受験に向けて休み時間も惜しんで勉強している姿や、学年全体で進路目標達成に向けて頑張る意気込みが感じられました。また、1・2年生からは、もうすぐ学年が上がり、これからの宮床中の顔・柱になる自覚を感じました。



〔1年生代表、2年生代表、3年生代表、生徒会代表〕

新しい年を迎えるにあたって “一日(いちじつ)の計は朝(あした)にあり、一年の計は元旦にあり” “書きぞめ指導” “正月飾り”のご支援をいただきました

“一日(いちじつ)の計は朝(あした)にあり、一年の計は元旦にあり”という言葉があります。その由来としては、中国明朝時代の『月令広義』にある「日之計在晨(あした:朝のこと)、一年之計在春(年の始めのこと)、一生之計在勤、一家之計在身」という説があるそうです。何事もはじめに計画を立てるのが肝要との意味です。

新年を迎えるにあたり、先日、地域の方々のご協力をいただき、2年生対象で「書きぞめ講習会」を開催しました。講師は、地域の書道家である宮崎由美子さんです。また、地域コーディネーターの千坂浩太郎さん、小川勝美さんには、伝統の正月飾りで縁起物の「爾玉(まゆたま)かざり」を北校舎と南校舎の玄関に飾っていただきました。赤い木肌のミズキの木に、豊作を祈念しての飾りが付けられています。日本の伝統に触れる貴重なご支援に感謝申し上げます。

また、新年の新たな目標にチャレンジする宮中生一人一人を、地域の方々、保護者の皆様と共に、教職員一丸となって支えています。



※ <12/18 旧体育館で、2年生対象の「書きぞめ講習会」>

<12/17 北校舎と南校舎の玄関に「正月飾り」>

< 活躍の記録 >

※賞状伝達は、3学期始めに行う予定です。

11/27 宮床中学校区児童生徒健全育成委員会「健全育成標語コンクール」

優秀賞:『 考えよう 相手に送る その言葉 』

優秀賞:『 ダメ絶対! みてみぬふりは いじめだよ 』

<お知らせ>

○令和2年12月28日(月)~令和3年1月3日(日)の期間は、学校閉庁日となります。緊急の場合は、**宮床中学校(携帯)080-7476-6431**にご連絡ください。

○〔大和町教育委員会からののお知らせです〕…eメッセージでもお知らせしました。

これまで、大和町内で新型コロナウイルス感染者が出た場合には、メールでお知らせしてまいりましたが、冬季休業中は、学校内での感染拡大の恐れがないので、児童生徒の感染情報がなければ、メールでのお知らせは致しません。ただし、児童生徒並びに教職員が感染した場合は、臨時休業を行わなくても、感染者の出た学校名について各学校を通じて皆様にお知らせいたします。なお、12月16日付けで宮城県から「新型コロナ危機宣言」が出ております。これからも感染予防対策の確実な励行をお願いいたします。

○前号で紹介した「放課後自習教室」学び支援員のお名前に誤りがありました。正しくは「阿部由紀さん」です。訂正しおわび申し上げます。また、12月には、竹島千恵子さんにもご協力いただきました。学び支援員の方々にあらためて感謝申し上げます。